

シースネイク シーエス6パック

SeeSnake® CS6 Pack



⚠ 警告!

本機を使用する前に、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書の内容を理解せずに使用すると、感電や火災、大けがを負う場合があります。

SeeSnake.

シリアル番号

目次

序章	
規制に関する声明	4
安全に関する注意	4
一般的な安全上の注意事項	
作業場所での注意事項	5
電気に関する注意事項	5
作業者の安全に関する注意	5
機器の使用とお手入れに関する注意	6
バッテリーの使用と取扱い	6
作業前の点検	
機器の安全に関する注意事項	
シーズネイクCS6Pakに関する安全事項	7
製品の概要	
説明	8
仕様	9
標準機器	9
各部名称	9
操作パネルの概要	11
操作方法	
準備	13
カメラシステムへの接続	13
CS6Pakの充電残量表示	14
検査の概要	15
内蔵カウンター	15
画像・動画の記録	16
インターフェイスアイコン	16
テキスト入力機能	18
ゾンデを探知する	19
配管経路探知(ライン探知)	20
ジョブレビュー	21
ジョブを管理する	
ジョブリスト	24
USBオプション	25
ジョブ設定	26
システム設定	
テキスト表示機能	27
システム設定の復元	27

レポートの提出	27
ソフトウェア	
HQソフトウェア	28
ソフトウェアのアップデート	29
メンテナンスとサポート	
クリーニング作業に関する注意事項	30
付属品（アクセサリ）	30
機器の運搬と保管	30
点検と修理	31
廃棄	31
バッテリー廃棄.....	31
トラブルシューティング	32
付録	
付録A: ドッキングハンドル	33
付録B: コンパクト2ドッキングシステム.....	34

序章

本取扱説明書に記載されている警告、注意、指示事項に、起こりうるすべての条件・状態が含まれているわけではありません。本機器を使用するにあたって、作業者自身が良識や注意といった要因を考慮する必要があります。

規制に関する声明

CE EC適合宣言書 (890-011-320.10) は、必要に応じて本取扱説明書に添付されます。

FCC この機器はFCC規制の第15章に準拠しています。操作は下記の2つが条件となっています：(1) 操作によって有害な電波障害を引き起こさないこと。(2) 本装置は、誤動作を引き起こしうる干渉を含め、いかなる受信障害も許容しなければならぬこと。

安全に関する注意

本取扱説明書と製品本体において、安全に関する重要な内容を知らせるために記号や表示が使用されています。ここでは、これらの記号や表示をより良くご理解いただけるように記載しています。



この記号は、安全に関する警告記号です。怪我を負う危険があることを警告しています。怪我や死亡につながる危険を避けるため、この記号が記載された文章に従ってください。

⚠ 危険

この表示は、危険を示します。記載内容を無視すると、死亡または大けがを負うことがあります。

⚠ 警告

この表示は、警告を示します。記載内容を無視すると、死亡または大けがを負う可能性があります。

⚠ 注意

この表示は、注意を示します。記載内容を無視すると、軽度または中度の怪我を負う可能性があります。

注記

この表示は、ものの保護に関する事項が記載されていることを示します。



このマークは機器を使用する前に取扱説明書をよくお読みくださいという意味を示しています。取扱説明書には機器を操作する上で、安全および適切な使用方法に関する事項が記載されています。



このマークは、機器の持ち運びや使用において、側面がカバーされている安全メガネ、またはゴーグルを使用すると、目の怪我につながるリスクを少なくすることができるという意味を示しています。



このマークは感電によるリスクを示しています。

一般的な安全上の注意事項

警告



安全に関する警告と説明を全てお読みください。警告や指示を守らない場合、感電、火災、大けがに至ることがあります。

本取扱説明書を保存してください!

作業場所での注意事項

- 作業場所は常に清潔で明るくしてください。物が散乱していたり、暗い場所での作業は事故につながります。
- 可燃性の液体や気体、粉塵などで爆発の危険がある環境で機器を使用しないでください。機器の使用で火花が発生して、ガスや粉塵に引火する場合があります。
- 機器の使用中は、子供や部外者を近寄らせないでください。注意散漫になると、機械の操作を誤ることがあります。
- 車に注意してください。道路上あるいは道路脇で作業するときは、通行中の車に注意してください。工事用安全作業服あるいは反射ベストを着用してください。

電気に関する注意事項

- パイプ、ラジエーター、コンロ、冷蔵庫などの接地表面と身体が接触しないようにしてください。身体が接地すると感電する危険が高まります。
- 機器を雨にさらしたり、濡らしたりしないでください。機器内部に水が入り込むと、感電する危険が高まります。
- 各電気接続部分は乾燥した状態にし、地面から離してください。濡れた手で機器やプラグに触れないでください。濡れた手で機器やプラグを触ると感電のリスクが高まる場合があります。
- コードは丁寧に扱ってください。コードを引っ張って機器を移動したり、電源を切ったりしないでください。熱や油、鋭い刃、作動中の部品の近くにコードを近づけないでください。コードが損傷していたり、ねじれていたりすると、感電のリスクが高まります。
- 湿度の高い場所での機器使用が避けられない場合は、漏電遮断器 (GFCI) で保護された電源を使用してください。GFCIを使用すると、感電の危険を減らすことができます。

作業者の安全に関する注意

- 常に作業に集中し、常識的な判断力をもって機器を操作してください。疲労や薬物やアルコールや医薬品の影響を受けた状態で機器を操作しないでください。操作中に注意を怠ると、重傷を負う原因になります。
- 適切な衣服を着用してください。緩めの衣服、またはアクセサリーの着用はおやめください。緩めの衣服、アクセサリー、長い髪は作動中の部品に巻き込まれることがあります。
- 衛生状態を良好に保ってください。検査機の使用後は、管内の内容物に触れた手や身体各部は、熱いせつけん水で洗浄してください。内容物は毒性や感染性がある場合があります。汚染防止のため、検査機取扱い中の食事や喫煙は控えてください。
- 排水管内での機器操作は、必ず正しい防護具を使用して行ってください。排水管は化学物質やバクテリア、その他有害物質などの感染症を引き起こす物質を含んでいる場合があります。火傷やその他の怪我や病気につながる恐れがあります。身体保護用品には以下のものがあげられます。安全メガネ、防じんマスク、ヘルメット、排水清掃用グローブあるいは手袋、ラテックスあるいはゴム手袋、保護面、ゴーグル、安全作業服、防毒マスク、つま先に鉄の入った安全靴など。
- 排水管清掃装置及び排水管検査機を同時に使用する際は、RIDGIDの排水管清掃手袋を着用してください。清掃ケーブルにからまったり、手を怪我する原因となりますので、専用グローブ以外の手袋や布切れなどで回転しているケーブルをつかまないでください。RIDGID排水清掃機用の専用グローブの下には、ラテックスあるいはゴム手袋を着用してください。また、損傷のある排水管清掃手袋は使用しないでください。

機器の使用とお手入れに関する注意

- 機器に無理な力をかけないでください。必ず用途に合った機器を使用してください。作業をより良く安全にするために、用途に合った機器を使用してください。
- 電源スイッチでオン／オフの切り替えができない状態の機器を使用しないでください。電源スイッチ制御ができない機器は危険です。必ず修理を行ってください。
- 調整作業や付属品の交換、また機器を保管する場合は、電源プラグやバッテリーパックを外してください。このような予防措置を講じることで、怪我をする危険を軽減することができます。
- 使用中ではない機器は子供の手の届かない場所に保管し、機器の取扱いに詳しくない人に操作をさせないでください。取扱い方法を知らずに機器を操作すると危険です。
- 機器の保守点検を実施してください。可動部品が位置ずれしていたり、動かなくなっていないか、なくなっていたり、損傷のある部品はないかなど、機器操作に影響する恐れのある状態がないか確認してください。損傷が見つかった場合は、必ず修理してから機器を使用してください。事故の多くは、しっかり保守点検が行われていない機器を使用したことが原因で発生します。
- 無理な姿勢で作業をしないでください。作業は常に足元を安定させ、バランスを保ちながら行ってください。バランスのよい姿勢で操作すると、予期しない状況においても機器をうまく制御できます。
- 機器や付属品は、作業の条件や内容を考慮し、また本取扱説明書の指示に従って使用してください。用途以外の目的に機器を使用すると危険です。
- 付属品は機器メーカーが推奨するものだけを使用してください。付属品の用途はそれぞれ異なります。機器に適合した付属品を選んでください。
- 取っ手部分は乾燥した、清潔な状態に保ち、油分が付かないようにしてください。取っ手部分を清潔にすることで機器の操作がより良くできます。

バッテリーの使用と取扱い

- 機器を使用する際は、指定のバッテリーパックのみを使用してください。他のバッテリーパックを使用すると怪我や火災につながる危険性があります。
- 製造者が指定する充電器のみを使用してください。特定の電池用の充電器を別のバッテリーパックに使用すると火災の危険性があります。
- 充電器の使用中はカバーをしないでください。正しく作動するには、適度な換気が必要です。使用中に充電器をカバーすると、火事につながる危険性があります。
- バッテリーや充電器は、使用書に基づいて湿気のない適温の場所で使用、保管してください。高温または低温、湿気のある場所でバッテリーを使用、保管すると、液漏れや感電、火傷につながる危険性があります。
- 伝導性のある物を使ってバッテリーの精査を行わないでください。バッテリー端末装置がショートすると、火花、火傷、感電の原因となります。バッテリーパックを使用していないときは、クリップ、小銭、鍵、釘、ネジ、端末装置同士をつなげることができるその他の金属に近づけないようにしてください。バッテリー端末装置がショートすると、火傷や火事につながる恐れがあります。
- バッテリーを乱暴に扱おうと、液体が漏れる可能性があります。その場合は液体に触れないようにしてください。万が一液体に触れた場合は、水でよく洗い流してください。液体が目に入ってしまった場合は、早急に医師に相談してください。バッテリーからの液体は、肌を刺激したり火傷の原因となります。
- バッテリーは正しい方法で廃棄してください。バッテリーは高温にさらされると破裂の原因になります。廃棄の際には燃やさないでください。バッテリーの廃棄については、国の規制に従ってください。適用される規制にはすべて従ってください。

作業前の点検

▲ 警告



感電やその他の原因による大けがのリスクを軽減し、機器の損傷を防ぐために、使用前に毎回全ての機器を点検し、問題を修復してください。

全ての機器を点検するために、以下の手順に従ってください：

1. 機器の電源をオフにください。
2. 全てのコード、ケーブル、コネクタを抜いて、損傷あるいは変化がないか確認してください。
3. 付着している汚れ、油分、その他の不純物をきれいにすることで、点検しやすく、持ち運びや使用する際に手のすべりを防ぎます。
4. 機器を点検して、安全・正常な操作に支障をきたすような故障、破損、欠如、位置ずれ、作業不能箇所その他異常がみられる状態がないか確認してください。
5. 取扱説明書に従って、全ての機器が良好に使用できる状態であるか点検してください。
6. 下記に関して作業場所を確認してください。
 - ・十分な明るさがあること。
 - ・引火性の液体、蒸気、または埃があると発火の恐れがあります。もしあれば、取り除くまでその場所で作業しないでください。機器は、防爆仕様ではありません。電気の接続により火花を発生させることがあります。
 - ・水気や障害物がない平らな場所で使用してください。水中に立った状態で本機を操作しないでください。
7. 作業をするのに何が必要かを確認して、必要な器材を決定してください。
8. 作業場所を確認し、必要であれば通行人を遮るための柵を設置してください。

機器の安全に関する注意事項

▲ 警告



本章は、シースネイクCS6Pakに関する重要な安全事項について記載されています。感電、火災、その他の大けがにつながるリスクを軽減するために、CS6Pakのご使用前に以下の注意事項をよくお読みください。

警告事項が載っている全書類や取扱説明書は必ず全て保管してください!

シースネイクCS6Pakに関する安全事項

- ・ 本取扱説明書、カメラシステム、および他の機器の説明書をご使用前によく読み理解してください。指示に従わない場合、機器の損傷や大けがにつながる恐れがあります。作業者が参照できるように、取扱説明書は本機と一緒に保管してください。
- ・ 水中での機器の操作は感電のリスクを高めます。作業する際は機器が水に触れている状態でCS6Pakの操作をしないでください。
- ・ CS6Pakのバッテリーおよび電気機器・接合部分は防水仕様ではありません。機器に水がかかる恐れがある場所での使用は避けてください。
- ・ CS6Pakは、高電圧に対する保護や絶縁に対応するようには設計されていません。高電圧が存在する環境で機器を使用しないでください。
- ・ CS6Pakには、互換性のあるバッテリーあるいは二重絶縁構造のACアダプターのみを電源としてください。ACアダプターは、屋内用のみをお使いください。バッテリーを使用する場合は、CS6Pakを風雨にさらさないでください。
- ・ CS6Pakに機械的衝撃を与えないでください。機械的な衝撃を与えることで、機器が損傷したり大けがのリスクが高くなります。
- ・ コンパクト2のドッキングシステムに装着されている際、長距離の運搬あるいはドッキングシステムが離脱して危険な状態の場合、モニターのドッキングハンドルあるいはフロントハンドルを持ってCS6Pakを運ばないでください。ドッキングシステムの予想外の離脱は、現場に損傷を与えたり、怪我の恐れがあります。

製品の概要

説明

シースネイクCS6Pakはコンパクトで、携帯性に優れたデジタル録画モニターです。通常の管内検査から検査結果をレポート機能を利用し作成し、そのデータをUSBメモリーに保存することも出来ます。

CS6Pakを使って、自動的に簡易的な検査レポートを作成し、USBメモリーに入れて顧客に送付することが可能です。この機能により、データをパソコンに移し、レポートを作成する手間を掛けずに検査レポートを作成することが出来ます。



CS6Pakは、シースネイクシステムケーブルですべてのシースネイク管内検査カメラシステムに接続することが出来ます。特に、コンパクト2カメラシステムとは親和性が高く、簡単に検査や移動ができるように設計されています。

コンパクト2の独自のドッキングシステムにより、迅速に準備することができます。搭載されているCS6Pakを見やすい角度に傾けたり、作業現場の使いやすい場所に置くために取り外すことができます。



HQは、作業管理、メディア、作業情報、顧客に対するレポート作成を整理することのできるソフトウェアです。

HQがインストールされている8GBのUSBメモリーが付属品としてついてきます。USBメモリーをコンピューターに接続するとHQが自動的にインストールされますので、CS6Pakを登録してください。付属品ディスクからHQをインストールあるいは、www.hq.seesnake.comからダウンロードすることもできます。

仕様	
重量	2.3kg
寸法	
長さ	356mm
幅	193mm
高さ	254mm
電源	18V リチウムイオン電池、あるいはACアダプター (別売)
電源レート	16-25VDC、25W
表示	
タイプ	カラー液晶
サイズ	115mm × 86mm、5.7インチ
解像度	VGA 640 × 480 ピクセル
輝度	500 Cd/m ²
メディア	
ビデオ	MPEG4 (H.264) 30 FPS
自動ログビデオ	MPEG4 (H.264) ファイルサイズ縮小に調節可能な低フレームレート
写真	JPG
音声	マイク、スピーカー内蔵
転送方法	USBメモリー
操作環境	
温度*	0°C ~ 47°C
保管温度	-10°C ~ 70°C
相対湿度	5 ~ 95%
高度	4,000m
* ACアダプターの動作温度は0°C ~ 40°Cに定められています。温度が0°C以下あるいは40°C以上の環境で作業する際は、ACアダプターを使用しないでください。	

標準機器

- ・ シースネイクCS6Pak
- ・ ACアダプター
- ・ 8GB USBメモリー (プリインストールされているHQを含む)
- ・ 取扱説明書
- ・ 製品ビデオ

各部名称



接続アイコン	
	発信器クリップ端子
	USBポート
	機能接地
	シースネイクケーブル接続部



フロントカバーとスタンド

フロントカバーが開いた状態のときは画面の反射を少なくし、閉じた状態のときはLCD画面を保護します。移動の際は、画面保護のためフロントカバーを閉じておいてください。



フロントカバーとスタンド

フロントカバーが開いた状態のときは、画面を見やすくかつ安定するようにフロントハンドルがスタンドの役目をします(上図)。フロントカバーを外すにはフロントハンドルの内側のレバーを引き、フロントハンドルを握り、下方に回転させます(引き下げます)。

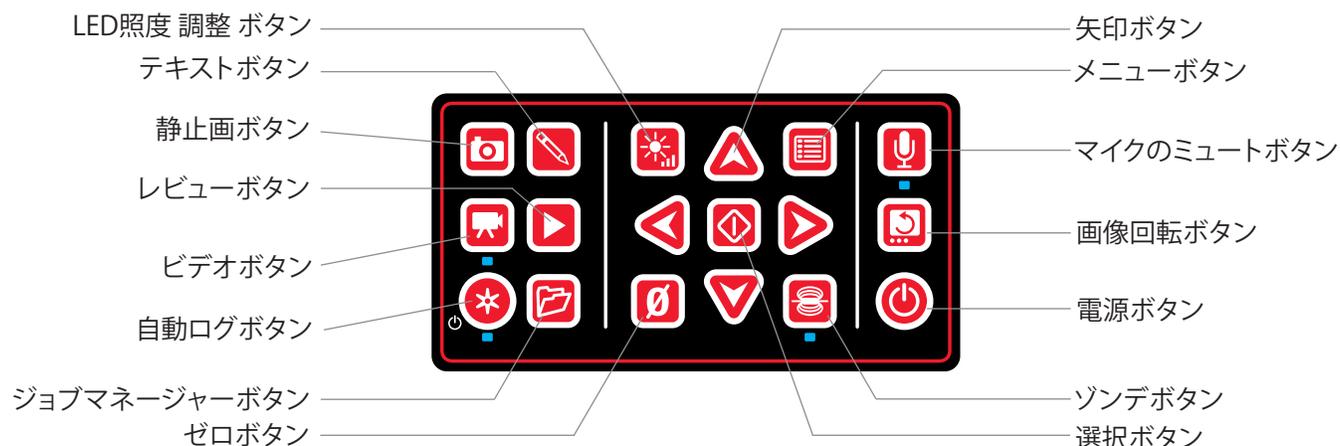


USBポートカバー

検査や移動の際は、USBメモリとUSBポートを保護するためにUSBポートカバーを閉めてください。

注記:USBメモリの全長が50mmを超えますと、USBポートカバーが閉まりません。

操作パネルの概要



ボタンと機能		
	電源ボタン	システムの電源をON・OFFにします。
	選択ボタン	ハイライトした箇所を選択し変更を実行します。録画中に、ビデオや自動ログビデオの録画を一時停止、再開するために押します。
	矢印ボタン	メニューや画面を通して操作し、再生中の音量の調節をします。
	メニューボタン	設定、リールオプション、LCD設定、時間、日付、地域選択、バッテリー残量、その他の情報を編集するために、メニューを開きます。ラベルと画面を終了させるために押します。
	静止画ボタン	静止画を撮影します。ビデオまたは自動ログビデオを録画中は、録画が停止あるいは一時停止されるまでいつでも写真を撮影することができます。
	ビデオボタン	ビデオ録画を開始、停止します。
	自動ログボタン	自動ログビデオの録画を開始、終了します。USBメモリーが挿入されている場合、クイックスタートを使って検査を始めます。1つのボタンを押すことで2つのことができます：システムをONにし、自動ログビデオの録画を開始します。
	テキストボタン	画面にテキストを入力できます。(※P18参照)
	レビューボタン	録画したメディアの見直し、ビデオの再生、注記の追加、顧客や作業場所の情報の入力、作業中のレポートの確認などをするために使用します。
	ジョブマネージャーボタン	ジョブリスト、新規ジョブの作成、既存ジョブの確認、会社情報の入力、USBメモリーからのジョブの削除などをするために使用します。
	マイクミュートボタン	マイク機能のON・OFFに使用します。ビデオを再生する際、音声をミュートにできます。
	LED照度調整ボタン	カメラのLED照度を調節します。照度レベルに合わせて押すか、一度押して矢印ボタンで照度を増減させてください。

ボタンと機能

	画像回転ボタン	短押しすると(1秒以下)、ライブ映像の画像が180度回転します。回転した画像が録画されたメディアに出てきます。機器の設置が制限されるような状況において、ユーザーインターフェイス全体を180度回転することも可能です。長押しすると(3秒以上)、ユーザーインターフェイスが回転します。
	ゾンデボタン	ゾンデ機能のON・OFFに使用します。
	ゼロボタン	検査の始めに長押しすると(3秒以上)、ゼロに設定されます。短押しすると(1秒以下)、一時的な区分測定をします。二度目に短押しすると、一時的な区分測定を終了しゼロ点からの測定に戻ります。 注記:一時的区分測定値は[]に表示されます。

操作方法



危険な化学物質やバクテリアを含む可能性のある排水管を検査するときは、ラテックスあるいはゴム手袋、ゴーグル、フェースシールド、防毒マスクなどの適切な身体保護用品の着用をしてください。ゴミやその他の異物から目を保護するために、必ず保護メガネを着用してください。

作業中あるいは機器が水に触れている状態でCS6Pakを操作しないでください。水に触れている状態での機器の操作は感電のリスクを高めます。濡れた表面上で作業する場合、すべりにくいゴム底の靴を着用することで、転倒や感電のリスクを軽減できます。

準備

現場で機器を使用する際は、簡単に操作パネルに手が届き、また画面に直射日光が当たらないように、CS6Pakを置いてください。配管の入り口近くにシーズネイクのカメラを設置すれば、画面を見ながらプッシュケーブルの操作が手際よくできます。CS6Pakとシーズネイクのカメラシステムが安定して置かれているか確認してください。

注記 屋外あるいは湿気のある場所で使用する場合、バッテリー電源のみをお使いください。バッテリーが雨に濡れないようにしてください。

カメラシステムへの接続

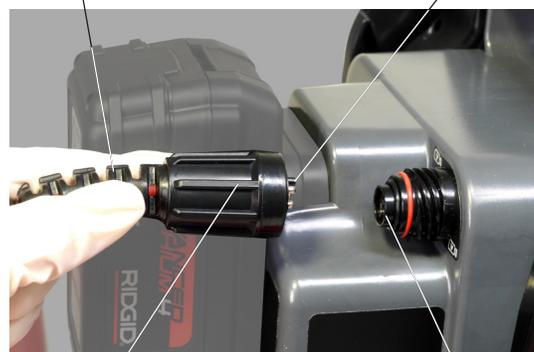
CS6Pakは、シーズネイクシステムケーブルを使ってすべてのシーズネイクの管内カメラシステムに接続できます。

1. システムケーブルを束えている場合は、ケーブルをほどき、接続部を引き出してください。
2. コネクターの外側のロックングスリーブを引いて、モニターの接続部に近づけます。
3. コネクター部分とプラスチックガイドピンを接続部に合わせ、コネクターをまっすぐモニター側に押し込んでください。
4. ケーブルコネクターの外側のロックングスリーブを締めつけます。

注記 外側のロックングスリーブのみを回して締めてください。ピンへの損傷を防ぐため、絶対にコネクターを曲げたり、ねじったりしないでください。

コネクターの突起部

ガイドピン



外側のロックングスリーブ

ケーブル接続部

5. システムの電源をONにしてください：
 - 電源ボタンを押してシステムをONにしてください。
 - 自動ログボタンを押してください。1つのボタンを押すことで2つのことができます：システムをONにし、自動ログビデオの録画を開始します。

注記：動画、静止画を記録するには、事前にUSBメモリーを挿入してください。

CS6Pakの充電残量表示

電源アイコン	
	バッテリーの充電が完了している状態。
	バッテリーがある程度充電されている状態。
	バッテリーの残量が少ない状態。
	バッテリーの交換が必要な状態。
	ACアダプターが接続されている状態。

充電式18Vリチウムバッテリー

警告

互換性のあるバッテリーのみをCS6Pakにお使いください。他のバッテリーを使用すると火災や怪我につながるおそれがあります。

CS6Pakは互換性のある充電式18Vリチウムバッテリーによって作動します。電池取付部にバッテリーをスライドさせ定位置で固定させてください。

データを喪失させないために、バッテリー残量が少ない場合やバッテリーアイコンが点滅したら録画を停止させ、チェックマークが表示されたらすぐにシステムの電源を切ってください。バッテリーを充電または交換し、再開してください。

バッテリー残量が少なすぎる状態になると、システムが進行中の録画を停止し電源が切れます。データが喪失するおそれがあります。バッテリーを充電または交換し、再開してください。

注記 バッテリーの充電状態に気をつけてください。極めて低量のバッテリーを使用することで予期しない電源切れが起きてデータの喪失や破壊につながる可能性があります。

ACアダプター

警告



ACアダプターは防水仕様にはなっていないので屋内のみで使用してください。感電をさけるため、ACアダプターを屋外あるいは湿気のある場所で使用しないでください。

CS6Pakは別売のACアダプターによって作動させることができます。バッテリー取付部にACアダプターをスライドさせ定位置で固定させてください。



検査の概要

シースネイクCS6Pakは標準あるいはアドバンス配管検査に使用できます。標準検査をする場合、CS6Pakをシースネイクカメラシステムに接続し、電源をONにし、配管にプッシュケーブルを押し入れ、画像を観察してください。アドバンス検査は、それに加えてメディアを記録し顧客にレポートを送付することになります。

1. シースネイクカメラシステムとCS6Pakを配管の入り口付近に設置してください
2. システムケーブルでカメラシステムにCS6Pakを接続してください。
3. 電源ボタン \odot を押して、システムの電源をONにしてください。あるいは、USBメモリーをモニターのUSBポートに挿入し、検査をすばやく始めるために自動ログボタン \odot を押してください。
4. 配管の中にカメラを注意深く入れてください。配管の入り口が鋭利な角になっている場合は、プッシュケーブルを保護してください。
5. 画面を見ながら、カメラを配管に押し込んでいきます。
6. 高度な機能：
 - 任意の場所をゼロ点に設定、一時的に区分距離の測定が可能
 - 画像・動画の記録が可能
 - テキスト入力が可能
 - 埋設管路探知器を組み合わせる事で不具合箇所、不具合経路を特定可能
 - ジョブの再生・レポートの確認が可能

内蔵カウンター

内蔵カウンターを搭載しているカメラシステムは、伸ばしたプッシュケーブルの長さの合計あるいは設定した起点（ゼロ点）からの距離を測定します。

内蔵カウンターは、ゼロ点からの測定を行いながら、配管の端部あるいはつなぎ目など任意の起点（一時的区分測定のゼロ点）からある区間を測定することができます。

ゼロ点の測定

検査測定を開始するときシステムをゼロ点にセットしてください。配管の入り口、あるいは配管の途中などをゼロ点とします。ゼロボタン 0 を3秒間押し続け、ゼロ点をセットしてください。

一時的区分測定

検査中に任意の区間の距離を測定するには、ゼロボタン 0 を押して一時的ゼロ点をセットします。一時的ゼロ点は[]で表示されます。一時的区分測定を消去しゼロ点測定に戻るには、ゼロボタン 0 をもう一度押ししてください。

測定表示

ゼロ点からの距離は画面の左下に表示されます。一時的区分測定値は[]で表示されます。

0 cm	検査起点。ゼロにセットします。
2.89m	最初に設定した起点からの距離。
[0 cm]	一時的区分測定のゼロ点。
[81 cm]	一時的ゼロ点からの距離。
3.70m	最初に設定した起点からの測定に戻ります。

画像・動画の記録

CS6Pakには内蔵メモリーはありません。メディアの録画およびレポート作成には、メモリー残量のあるUSBメモリーを挿入してください。メディアは、作業中は継続的に録画されると同時に自動的にオープンジョブに保存されます。次に各ジョブは、録画されたメディア、会社名、顧客情報および注記などを含んだレポートを作成します。

検査記録を残す必要がない場合、ライブ映像、ゾンデ操作、ゼロ点設定あるいはカメラの照度調整などにおいてはUSBメモリーは不要です。

インターフェイスアイコン	
	USBメモリーが挿入されています。USBメモリーの下バーは、USBメモリー残量を表します。
	録画されたメディアは絶えずUSBメモリーに記録されます。録画メディアがどの程度書き込まれたかパーセントで表示されます。この例では、録画の99パーセントがUSBメモリーに保存されたことを表しています。また、このアイコンが表示されている間は、USBメモリーを外さないでください。
	録画メディアは処理されUSBメモリーに保存された事象を表しています。また、このアイコンが表示されている間は、USBメモリーを外さないでください。
	処理が終了してメディアが全て保存されました。USBメモリーを安全に外せます。
	ジョブを開いています。
	ライブ映像の画像が回転します。

注記 早まってUSBメモリーを外すと、データの消失や破壊につながる場合があります。

最新録画を確認する

最新録画を確認するには、レビューボタンを押してください。ビデオまたは自動ログビデオを簡単に再生するためにこのボタンを使うと便利です。オープンジョブのすべての録画メディアを確認することができるジョブレビューの画面から、レポートレビューにアクセスしてください。終了してライブ映像に戻るにはメニューボタンを押してください。

静止画を撮影する

静止画を撮影するには、静止画ボタンを押してください。一時的に静止画アイコンが表示され、静止画はUSBメモリーのオープンジョブに自動的に保存されます。

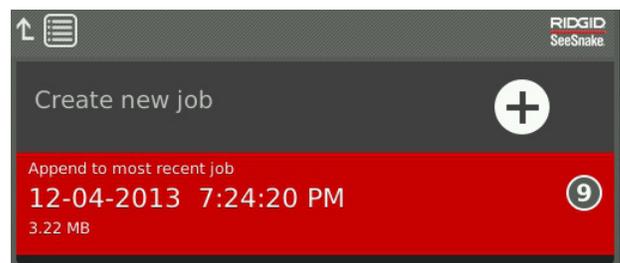
自動ログビデオを録画する

自動ログビデオの録画を開始、停止するには自動ログボタンを押してください。自動ログビデオが録画されているときは、ボタンの下のLEDが点灯し、自動ログビデオアイコンが赤く表示されます。

選択ボタンを押すと自動ログビデオを一時停止します。自動ログビデオ録画が一時停止しているときは、赤い自動ログビデオアイコンが黒に変わります。選択ボタンを押すと自動ログビデオの録画が再開します。

自動ログビデオの録画を停止するには、自動ログボタンを押してください。黒い自動ログビデオアイコンは自動ログ録画が停止して処理中であることを示しています。録画が処理され、オープンジョブに保存されるまで、多少時間を要します。チェックマークは、録画の処理がスムーズに終了しUSBメモリーに保存されたことを示します。

検査を素早く開始させたい場合は、自動ログビデオ録画をご使用ください。システムの電源がOFFの場合、自動ログボタンを押すと電源が入り、自動的に自動ログビデオの録画が開始されます。入力催促が出たら、新規ジョブの作成 (Create new job) あるいは最新のジョブへの追加 (Append to most recent job) を選んでください。



注記: 自動ログボタンを押してシステムの電源をOFFにすることはできません。

自動ログビデオとは？

自動ログビデオは長時間撮影を要する場合、間欠的に記録することでデータ容量を抑えることができる機能です。

自動ログビデオのビデオ圧縮率は、従来のビデオ録画サイズの約十分の一です。自動ログビデオは従来のビデオ録画に似ていますが、カメラが動いてないときは、配管検査ビデオの静止したままの特徴を利用し、画像を徐々に更新することによって、圧縮度をさらに高く（低ファイルサイズ）することに成功しました。

カメラが配管内を動いているときは、状況を把握するために自動ログビデオは1秒間に5コマの画像を録画しています。カメラの動きが停止すると、自動ログビデオは5秒間に1コマの画像を録画します。

従来のビデオ録画に比べて相当量のファイルサイズが縮小されたことで、ファイルの移動が容易なうえに低コストになりました。自動ログボタン Ⓜ は検査のクイックスタートに使用できます。システムの電源が切れているときに押すと、装置がONになり新規のジョブを作成し、自動ログビデオの録画を始めます。自動ログビデオで、ビデオ録画と写真撮影をしているあいだに、小さなファイルフォーマットに配管検査のすべてを録画できます。

ビデオを録画する

ビデオ録画を開始、停止するにはビデオボタン Ⓜ を押してください。ビデオを録画しているとき、ボタンの下のLEDが点灯し赤いビデオアイコン Ⓜ が表示されます。

選択ボタン Ⓜ を押すとビデオ録画を一時停止します。ビデオ録画を一時停止すると、赤いビデオアイコンが黒いビデオアイコン Ⓜ に変わります。選択ボタン Ⓜ を押すとビデオ録画が再開されます。

ビデオ録画を停止するときは、ビデオボタン Ⓜ を押してください。黒いビデオアイコン Ⓜ はビデオ録画が停止し処理していることを示します。録画が処理され、オープンジョブに保存されるのに多少時間を要します。チェックマーク Ⓜ は、録画の処理がスムーズに終了しUSBメモリーに保存されたということを示します。

音声を録音する

カメラ撮影中にコメント等を録音したい場合にこの機能を使用します。音声録音機能のON・OFFを切り替えるにはマイクのミュートボタン Ⓜ を押してください。マイクを使用する場合、ボタンの下のLEDが点灯しマイクのアイコンが黄色 Ⓜ になります。ビデオが録画されて、マイクを使用する場合、マイクのアイコンが赤く Ⓜ になります。マイクを使用しない場合、マイクのアイコンがグレイ Ⓜ になります。

デフォルトではマイクは使用状態になっています。自動ログビデオとビデオ録画をしている最中は、作業者のコメントが損なわれることなく途切れないよう音声を継続的に録音します。ビデオあるいは自動ログビデオの録画が一時停止するときは、音声も一時停止します。

再生時、録音の音量調節をするためには上下矢印ボタン Ⓜ を押してください。

複数録画

ビデオと自動ログビデオを同時に録画することも、どちらか1つを録画することもできます。どちらの録画タイプでももう一方に影響することなく録画を開始、停止することができます。ただし、一時停止は、どちらの録画タイプにも影響します。ビデオ、自動ログビデオの録画中に静止画を撮影することができます。



テキスト入力機能

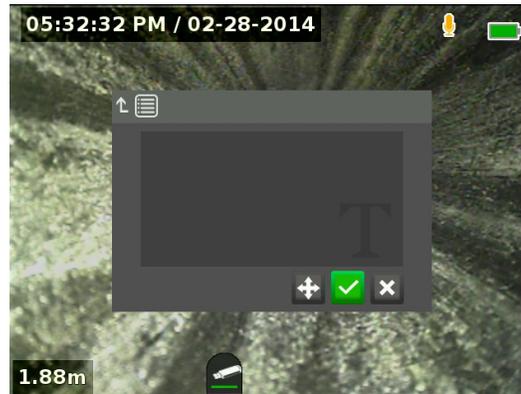
注記：時間/日付、計数の表示については、P28を参照してください。

テキストは、ビデオ画像の上に重ねられ、録画されたメディアファイル（静止画、ビデオ、自動ログビデオ）に半永久的に残ります。テキストは録画メディアを削除するまで表示されます。

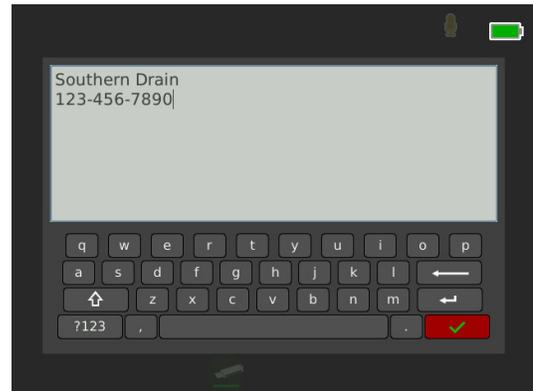


テキストの追加

1. テキストボックスを開くにはテキストボタンを押してください。



2. 画面上のキーボードを開くには、選択ボタンを押してください。
 - テキストをハイライトするには、矢印ボタンを使い、入力するには、選択ボタンを押してください。
 - テキストを保存するには、保存アイコンをハイライトして、選択ボタンを押してください。



テキスト入力機能アイコン

	移動	テキストボックスの位置を調整します。
	保存	すべてのメディアに表示されるように文字を保存します。
	破棄	変更を破棄し終了します。

注記：シーズネイクカメラシステムの中には、カメラの画像に距離カウンターを表示する機能が搭載されているものもあります。これらはCS6Pakからは編集・削除できません。また逆に、CS6Pakの操作パネルで作成した画面上のテキストは、カメラシステムの操作パネルで編集や削除できません。

3. 移動アイコン \oplus をハイライトし選択することで、画面上のテキストの位置を動かすことができます。テキストボックスを動かすには矢印ボタン \leftarrow を使い、配置を保存するためには選択ボタン \otimes を押します。

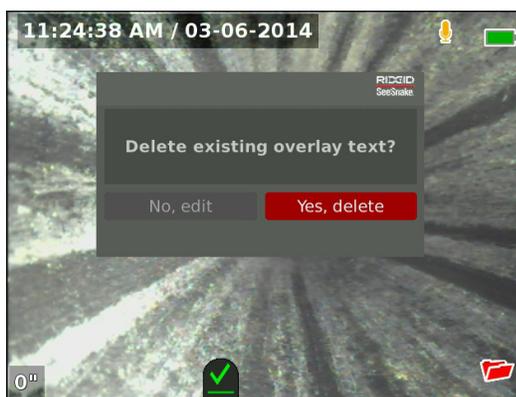


4. ビデオ画像の上にテキスト情報を表示・保存するには、保存アイコン \checkmark をハイライトし選択ボタン \otimes を押します。その後、ライブ映像に戻ります。



テキストを削除、編集

テキストを削除、編集するにはテキストボタン \otimes を押して、はい・削除 (Yes, delete)、いいえ・編集 (No, edit) のどちらかをハイライトし、選択ボタン \otimes を押してください。



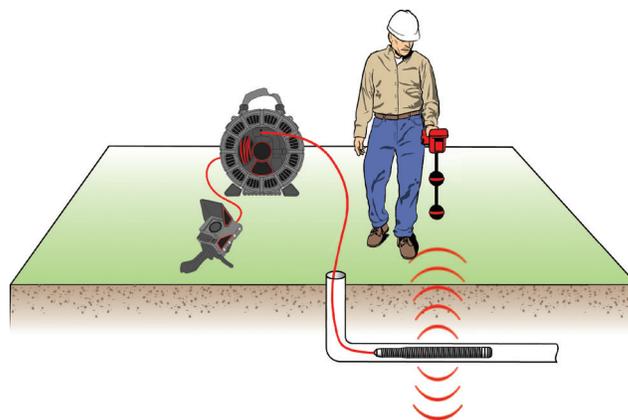
ゾンデを探知する

多くのシーSnakeカメラシステムは、配管内の特定の位置を探知できるようにゾンデが搭載されています。ゾンデはカメラヘッド部のスプリング部内に搭載されています。ゾンデ発信器は512Hzに設定され、RIDGIDシーSnake SR-20、SR-24、SR-60、スコート™またはナビトラック®IIなどの受信器で探知可能です。

お使いのカメラシステムにゾンデ機能が付属しているかどうかをゾンデボタン \otimes を押すことで確認できます。ゾンデを作動させる場合、ボタンの横のLEDが点灯しゾンデアイコン \otimes が表示されます。512Hzのゾンデ信号が、記録されたメディアに干渉する可能性もあります。

ゾンデを探知するために、以下の手順に従ってください：

1. 受信器の電源を入れ、ゾンデモードに設定してください。
2. 配管の方向を考慮し、ゾンデのあると思われる方角を探知してください：
 - ゾンデを作動させ、配管内(5m以内)にプッシュケーブルを押し込んでください。
 - 受信器はゆっくりと水平に円弧を描くように動かしてください。
3. 受信器がゾンデを探知すると、信号の強度が最高になります。



注記：ゾンデを探知する手順は、お使いの受信器の取扱説明書を参照してください。

配管経路探知(ライン探知)

プッシュケーブルのライン探知で配管の経路を探すことができます。これは、非金属あるいは伝導性のない配管に特に有効です。プッシュケーブルの中に電流を誘導し発信器を使ってライン探知します。

注記:CS6Pakの電源を必ずONにし、シースネイクカメラシステムとプッシュケーブルをライン探知する発信器が接続されているか必ず確認してください。

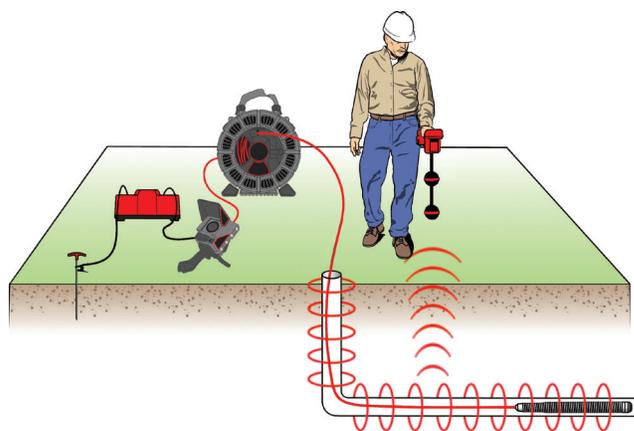
プッシュケーブルをライン探知するために、以下の手順に従ってください:

1. 発信器のアース棒を地面に突き刺して、発信器のリード線の一方をそのアース棒につなげてください。
2. CS6Pakの後ろの発信器のクリップ端子に、もう一方のリード線をつなげてください。



3. 発信器の電源を入れ、希望する周波数に合わせてください。最良の結果を出すには、33kHzかそれ以上の周波数を使用してください。

4. 受信器の電源を入れ、発信器と同じ周波数に合わせてください。
5. 配管経路の探知(ライン探知)を開始します。



注記:配管経路探知(ライン探知)に関する詳細は、お使いの発信器と受信器の取扱説明書を参照してください。

ジョブレビュー

レビューボタンを押して、ジョブレビュー画面を開いてください。ジョブレビュー画面を見ている間も録画をすることはできますが、ライブ映像は表示されませんので、レビュー画面を見る際は、録画を止めることをおすすめします。

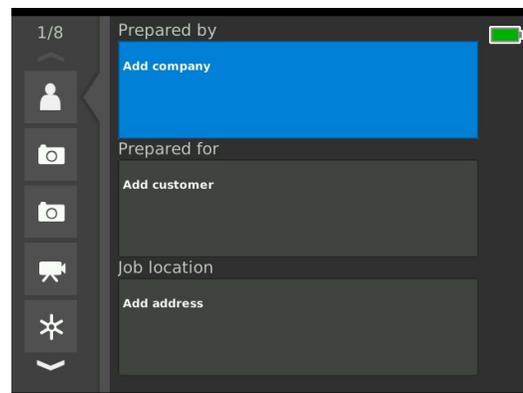
ジョブレビュー画面から、オープンジョブの記録メディアの確認や編集、個々の記録に注記を追加、レポートに記載する記録の選択、顧客情報の入力、レポートの確認などができます。

ジョブレビューのラベル		
	基本情報 (Contact)	会社名、顧客情報、作業場所の詳細を入力します。
	静止画 (Photo)	静止画を見たり注記を追加します。
	ビデオ (Video)	ビデオを再生したり注記を追加します。
	自動ログ ビデオ (Autolog Video)	自動ログビデオを再生したり注記を追加します。
	ノート (Notes)	文字の吹き出しは、この記録に注記が追加されたことを示します。
	録画中... (Recording)	赤い点は録画中であることを示します。録画中はビデオあるいは自動ログビデオの再生はできません。
	除外メディア (Excluded Media)	この記録は除外されたと見なされレポートに表れませんが、ジョブの一部なのでUSBメモリーには残ります。
	レポート 情報 (Report Information)	静止画枚数、ビデオ本数、あるいは自動ログビデオ本数などのメディアの統計を確認できます。基本情報がレポートに入力されているかどうかを確認できます。この画面からジョブレポートを確認することができます。

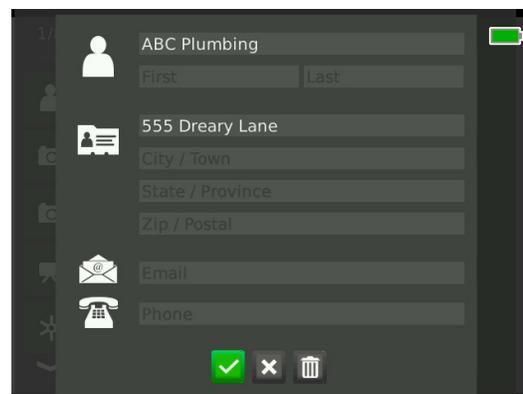
ジョブの詳細を入力

ジョブレビュー画面の上の部分の基本情報ラベルから作業者の会社情報、顧客情報、作業場所を追加できます。入力した情報はレポートの見出しに使用できます。

1. レビューボタンを押して、基本情報ラベルに進んでください。
2. 入力した情報のタイトルをハイライトしてください：会社名、顧客、あるいは住所など。テキストフォームを開くには選択ボタンを押してください。



3. 編集したい部分をハイライトして、テキストボックスを開くために選択ボタンを押し、画面上のキーボードを使って文字を入力してください。



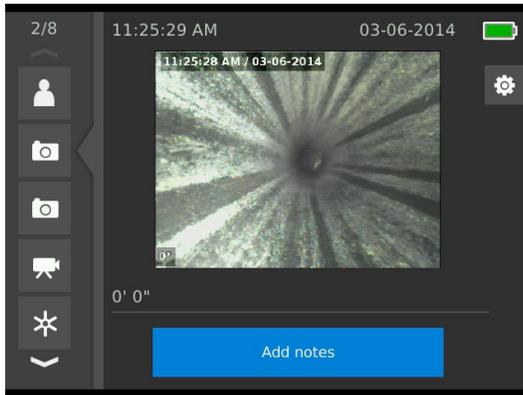
注記：画面上のキーボードの使い方はP18を参照してください。

4. 他の部分も繰り返し、終了したら保存アイコンをハイライトして、選択ボタンを押して保存し、基本情報ラベルに戻ります。

メディアに注記を追加する

ジョブレビュー画面から個々の記録(写真、ビデオ、自動ログビデオ)に注記を追加できます。

1. 注記を追加したい記録に進み、注記の追加 (Add notes) をハイライトしてください。



2. テキストボックスを開くために選択ボタン(🔍)を押し、文字を入力するために画面キーボードを使用してください。

注記:画面キーボードの使い方はP18を参照してください。

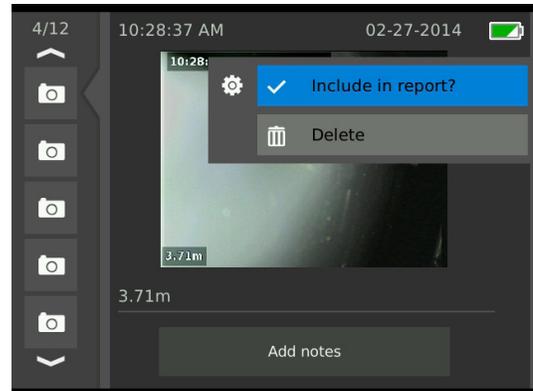
3. 注記を保存するには保存アイコン(✔)をハイライトしてください。注記を破棄するには破棄アイコン(✖)をハイライトしてください。
4. 選択ボタン(🔍)を押してください。

注記:ジョブレビュー画面に入力したテキストは、USBメモリーの中のオープンジョブに保存され、HQにインポートしてもメディアの記録に残ります。

メディアの除外

デフォルトですべての記録メディアはジョブレポートに保存されます。ただし、任意のジョブを除外し、レポートに表示されないようにする事ができます。除外したジョブは、データとしてUSBメモリーに残ります。

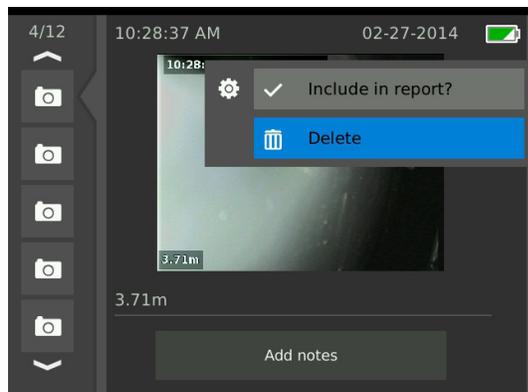
1. レポートから除外したいメディアに進み、右矢印ボタン(▶)を押して設定アイコン(⚙️)をハイライトしてください。
2. 選択ボタン(🔍)を押してください。



3. レポートに含む (Include in report?) (✔)をハイライトし、含む (include) (✔)と除外する (exclude) (🚫)のどちらかに合わせて選択ボタン(🔍)を押してください。
4. 終了するにはメニューボタン(☰)を押してください。

メディアの削除

1. ジョブから削除したいメディアに進み、右矢印ボタン  を押して設定アイコン  をハイライトしてください。
2. 選択ボタン  を押してください。

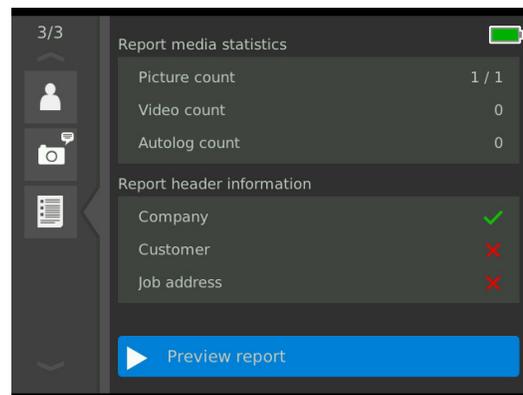


3. 削除アイコン (Delete)  をハイライトし、選択ボタン  を押してください。
4. 終了するにはメニューボタン  を押してください。

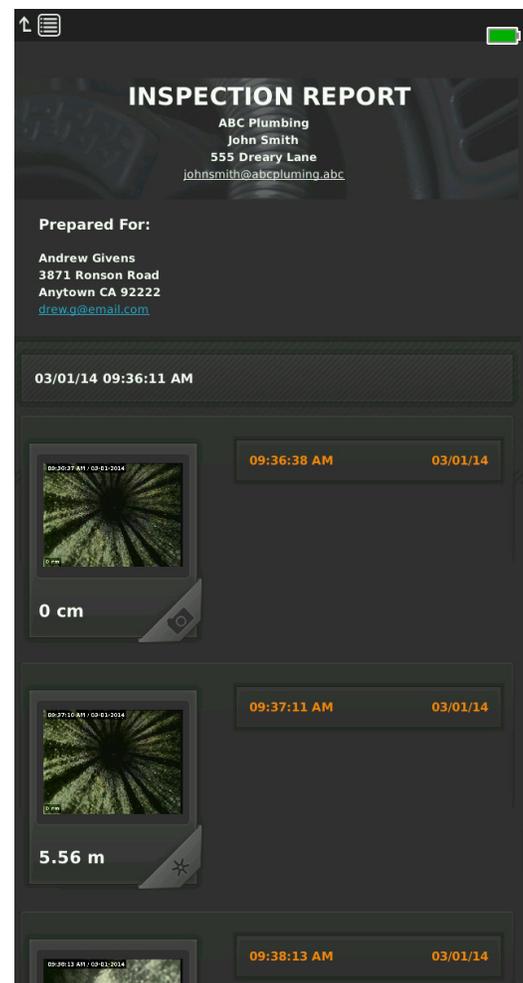
注記: ジョブレポートからメディアを削除することは、ジョブからも削除されるということです。

レポートの確認

1. ジョブレビュー画面の下のレポート情報ラベル  に進んでください。
2. レポート確認 (Preview report) をハイライトし、選択ボタン  を押してください。



3. レポート確認画像が表示されたら、下矢印ボタン  を押してください。



4. 終了するにはメニューボタン  を押してください。

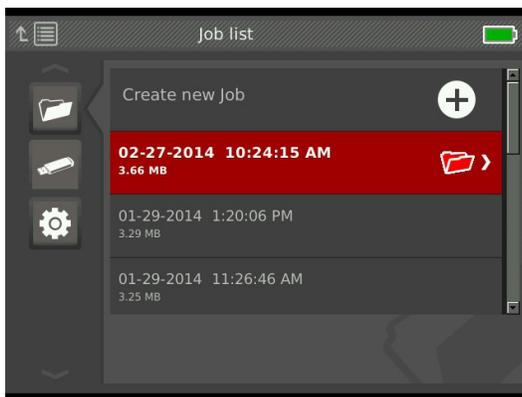
ジョブを管理する

USBメモリーに保存済みの全てのジョブは、ジョブマネージャーに保存されています。以下のラベルにアクセスするにはジョブマネージャーボタンを押してください。

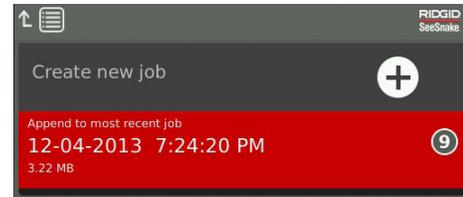
ジョブマネージャーラベル	
 ジョブリスト	USBメモリーの全てのジョブのリストを含みます。新規ジョブの作成や、既存ジョブの開閉をします。選択されているジョブの内容確認や、オープンジョブの変更をします。
 USBオプション	USBメモリーの残量表示と全削除を行います。
 ジョブ設定	作業者の会社情報を追加し、自動的にレポートに入力するかどうかを選択します。

ジョブリスト

検査をしている間、メディアは継続的に記録され、オープンジョブに自動的に保存されます。ジョブが開いている場合は、オープンジョブアイコンがライブ映像画面とジョブリストに表示されます。

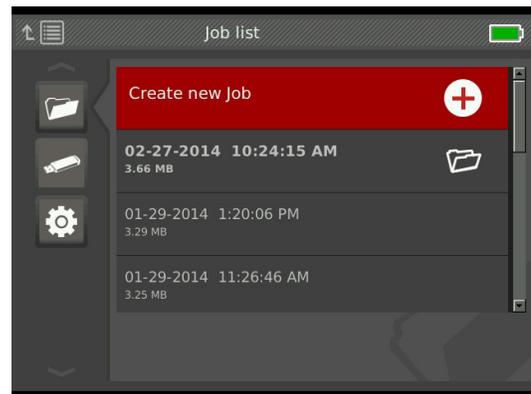


ジョブが開いていない場合にメディアを記録するには、新規ジョブ作成 (Create new Job) あるいは最新のジョブに追加 (Append to most recent job) のいずれかを選択してください。新規メディアは任意のフォルダに保存されます。



新しいジョブを作成

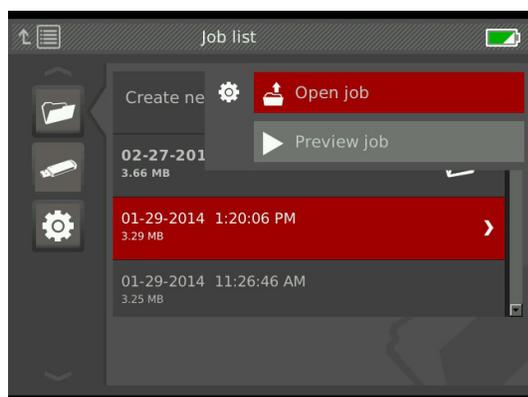
新規ジョブを作成するには、ジョブリストラベルに進み、新規ジョブ作成 (Create new Job) をハイライトし、選択ボタンを押してください。作成の日時が新規ジョブ名となります。



オープンジョブ/プレビュージョブ

USBメモリーに保存されているジョブを確認するには、ジョブリストラベル  に進み、確認したいジョブをハイライトし、選択ボタン  を押してください。

- オープンジョブ: ハイライトされたジョブに新しく記録するメディアを保存します。
- プレビュージョブ: ジョブレビュー画面を開き、全ての記録メディアとジョブ、あるいは入力されている顧客情報を表示します。ジョブレビュー画面で顧客やジョブ情報の追加や編集ができます。



注記: ジョブがすでに開いている場合は、このメニューからジョブを閉じることができます。

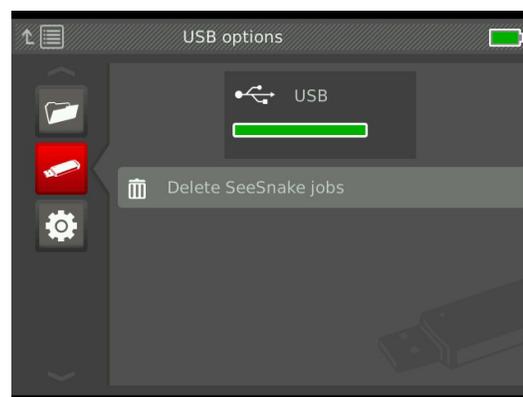
USBオプション

USBオプションラベルは、USBメモリーの残量を表示します。細長い赤い部分はUSBメモリーにすでに保存されているデータの容量を示し、緑の部分は残量を示します。チェックマーク  はUSBメモリーを安全に抜き取ることができる状態ということを示します。

注記: データが書き込まれている間、USBインジケータのLEDが点滅します。点滅中にUSBメモリーを抜き取ると、データの消失や破壊につながる可能性があります。

ジョブの全削除

USBメモリーから全てのジョブを削除するには、USBオプションラベル  に進み、「シーSnakeジョブを削除 (Delete SeeSnake jobs)」をハイライトし、選択ボタン  を押してください。

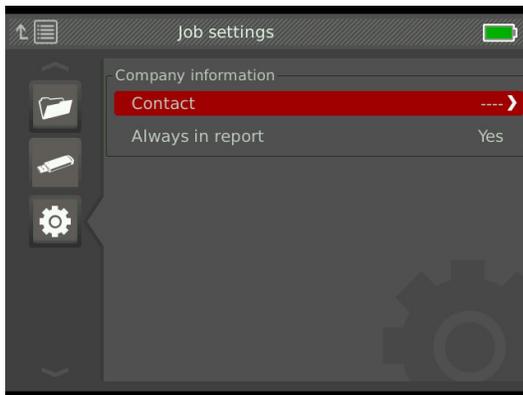


注記: 個々のジョブではなく、USBメモリーの中の全てのジョブを削除します。特定のジョブを削除するにはHQのUSBメモリーより行ってください。

ジョブ設定

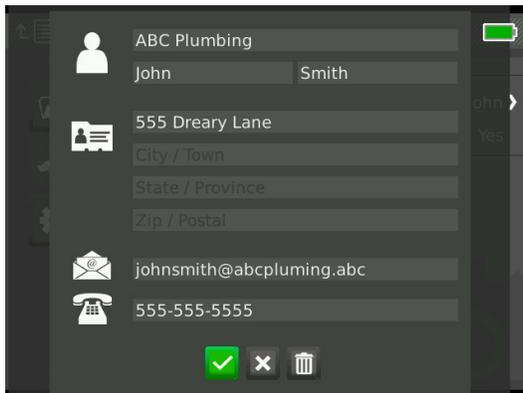
作業者の会社情報をジョブレポートのヘッダーに表示することができます。ジョブ設定画面で設定できます。

1. ジョブ設定ラベルに進み、基本情報 (Contact) をハイライトし、選択ボタンを押してください。



2. 編集したい部分をハイライトして、選択ボタンを押してテキストボックスを開き、画面のキーボードを使って文字を入力してください。

注記: 画面のキーボードの使い方は、P18を参照してください。



3. 各項とも同様の動作を繰り返してください。終了したら、保存アイコンをハイライトし、選択ボタンを押してください。
4. ジョブ設定ラベルで、常時レポート (Always in report) をハイライトし、はい・いいえのどちらかに合わせて選択ボタンを押してください。

システム設定

メニューボタンを押してメニューラベルに進み設定を編集してください。ラベルを選択し、矢印ボタンと選択ボタンを使用して設定してください。終了するにはメニューボタンを押してください。



メニューラベル

	CS6Pak設定	スピーカーの音量、音声あるいはキーボードの設定などを行います。
	カメラシステムオプション	テキスト情報の表示設定、ゾーンのデフォルト設定を行います。
	LCD設定	液晶画面の明るさとコントラストの調整をします。
	日付と時間	日付と時間の修正をします。
	電池情報	バッテリータイプ、シリアル番号、電圧値、温度、電流値、電源を確認します。
	地域選択	言語及びその他の地域別設定の変更をします。
	製品について	ソフトウェアのバージョン情報の確認とシステム設定の復元をします。

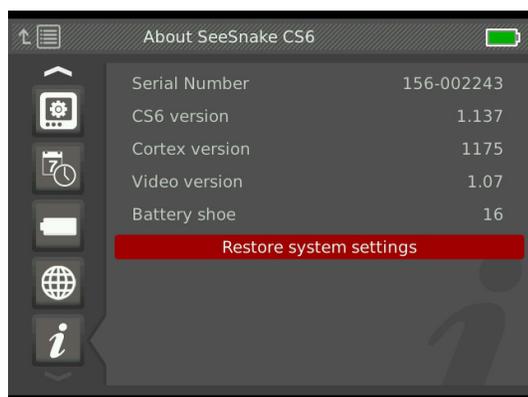
テキスト表示機能

検査実施の日付と時間、測定計数など、いつどのように画面やメディアに表示したいかなど設定できます。変更するにはカメラシステムオプションラベルに進み、テキスト表示 (Overlay) をハイライトし、右矢印ボタンを押して、下記のいずれかを選択してください。

表示テキストの詳細	
表示のみ (Display Only)	日付、時間、測定計数を表示し、メディアの記録はしません。計数と日付・時間の両方の文字サイズの調整が可能です。
記録 (Recorded)	日付、時間、測定計数を表示し、メディアに記録します。文字サイズはこのモードであらかじめ設定されます。
カメラシステム (Reel)	カメラシステムのドラム操作パネルより入力したテキスト情報を表示します。文字サイズはこのモードであらかじめ設定されます。
オフ (Off)	日付、時間、測定計数は全く表示されません。

システム設定の復元

メインメニューからシステムの設定を復元できます。製品情報ラベルに進み、システム設定の復元 (Restore system settings) をハイライトし、選択ボタンを押してください。



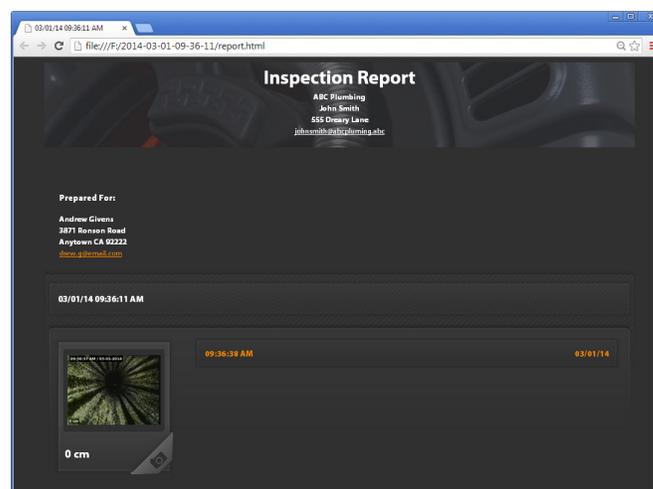
レポートの提出

CS6Pakの最も利用価値の高い特徴の1つは、作業しながら自動的に広範囲にわたるレポートをまとめ、手際良く顧客に提出できることです。このようなレポートは、顧客と検査の結果に関して話し合う際に大変役立ちます。多くの場合、現場を出る前にレポートの入ったUSBメモリーを顧客に渡すことができます。

HQで編集せずにレポートを提出する場合、USBメモリーを事前にCS6Pakあるいはコンピューターで確認できます。

コンピューターでレポートを見るには、以下の手順に従ってください：

1. USBメモリーをコンピューターに挿入してください。
2. 「report.html」という名前のファイルを開けてください。



注記：レポートはウェブのブラウザで開かれますが、レポートを見るためにインターネットに接続する必要はありません。

3. フルサイズの写真を見たり、ビデオまたは自動ログビデオを再生するには、記録されたメディアをクリックしてください。
4. コンピューターからUSBメモリーを安全に抜き取ってください。

レポートを更に編集したい場合、HQソフトがインストールされているコンピューターにUSBメモリーを挿入してください。USBメモリーから自動的にジョブがHQにインポートされます。

ソフトウェア

HQソフトウェア



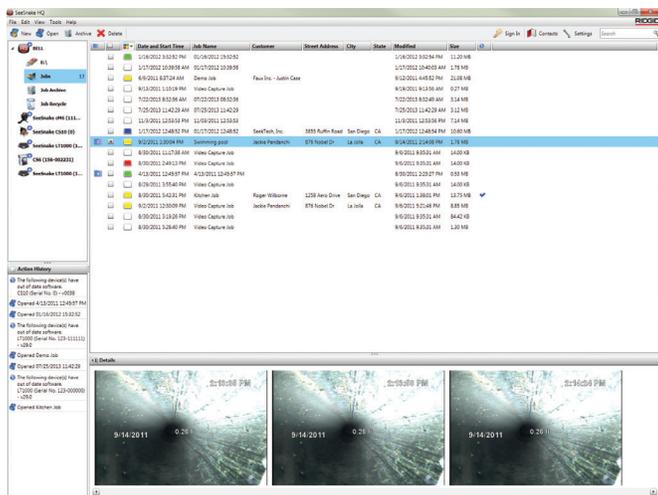
HQは、検査中に記録されたメディアを管理しやすいうに設計されたソフトウェアです。HQは、ジョブやメディアの管理・アーカイブ、顧客情報の保管、レポートの追加編集、DVDの作成、レポートあるいは個々のメディアを送付することができます。

CS6Pakに付属している8GBのUSBメモリーには、HQがあらかじめインストールされています。USBメモリーのHQをインストールすることで、CS6Pakのシリアル番号が機器ロッカー (Equipment Locker) に正確に登録されます。付属品のディスクまたは下記のサイトから最新のHQをインストールすることもできます www.hq.seesnake.com。

CS6Pakのソフトウェアのアップデートは、HQを通して配給されます。アップデートを受信するには、HQの機器ロッカー (Equipment Locker) にCS6Pakを登録してください。

HQに関して

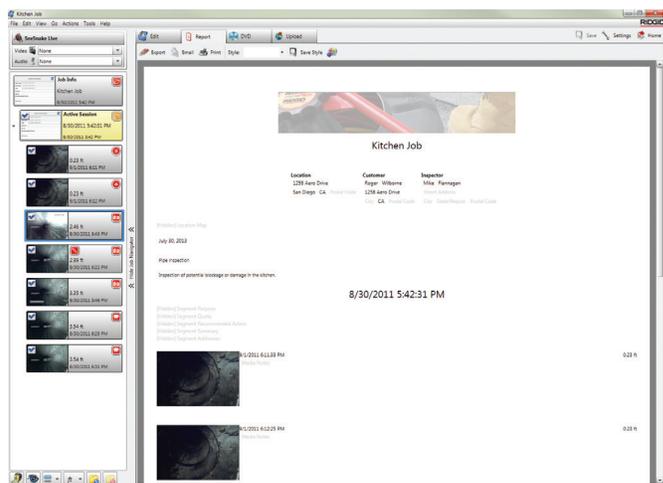
HQは、Windows 7、Windows 8、あるいはWindows 8.1 に対応しています。ソフトウェアは18か国語に翻訳されています。



HQは、ジョブの管理や分類、バックアップ、静止画の編集、ビデオクリップの作成と編集、注記の追加、顧客の詳細、ジョブ情報のツールを取り揃えています。



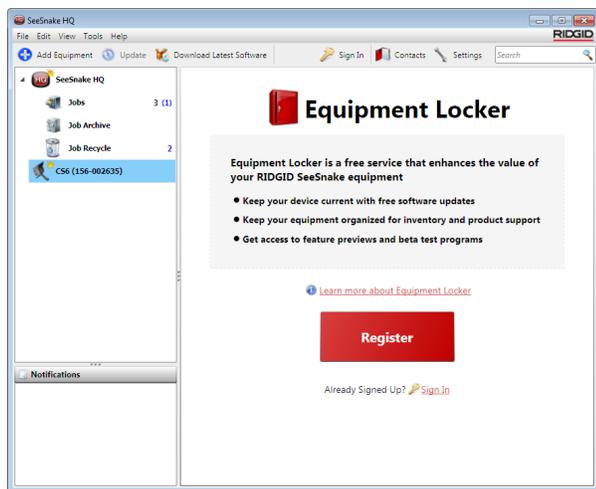
HQから印刷可能なPDFを作成しメールで送付したり、デジタル媒体やDVD向けのレポートを作成することができます。作業者の会社のロゴや問い合わせ情報を入れるなど、簡単にレポート形式のカスタマイズも行えます。プロモーション用の写真やビデオクリップをレポートに追加することもできます。



HQの内容を、検査メディアとレポートを保管や共有するためのオンラインサービス、RIDGIDコネクにアップロードできます。RIDGIDコネクに関する情報は、下記のサイトでご覧になれます www.ridgidconnect.com。

ソフトウェアのアップデート

ソフトウェアのアップデートが可能になると自動的にお知らせが届くように、HQの機器ロッカー (Equipment Locker) にCS 6 Pakを登録してください。

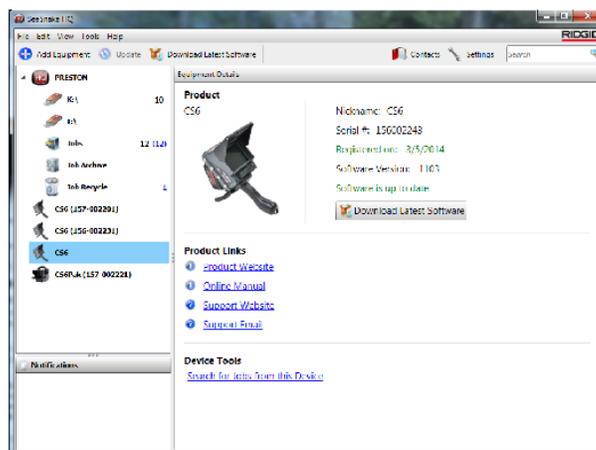


注記: アップデートをインストールするためには、FAT32でフォーマットする必要があります。32GB以上のUSBメモリーは使用できません。

システムのソフトウェアをアップデートするには、以下の手順に従ってください:

1. HQを開きます。
2. アップデート可能のメッセージがあるか確認するために、CS6Pakアイコンをクリックしてください。

3. 「最新のソフトウェアをダウンロードする (Download Latest Software)」をクリックしてください。



4. USBメモリーをコンピューターに挿入し、HQの手順に従ってください。
5. コンピューターからUSBメモリーを安全に抜き取り、CS6Pakに挿入してください。
6. CS6Pakの電源をONにし、アップデートを開始するために選択ボタン  を押してください。システムが確認、再起動、アップデートをインストールし、もう一度再起動してプロセスを終了します。

メンテナンスとサポート

クリーニング作業に関する注意事項

警告



感電のリスクを軽減させるため、全てのコードとケーブルを抜き、クリーニングの前にバッテリーを取り外してください。

CS6Pakを布などで水拭きしてください。クリーニングの前にUSBポートを閉じてください。

本体に液体がかからないようにしてください。ホースで水をかけないでください。液体洗剤または研磨剤などを使用しないでください。LCD画面専用のクリーナーのみで画面をきれいにしてください。

付属品 (アクセサリ)

CS6Pak専用あるいは適した付属品のみを使用してください。他の機器に設計された付属品をCS6Pakに使用すると危険な場合があります。

以下のRIDGID製品はCS6Pak用に使用、もしくは同時に使用することを想定し設計されたものです：

- シースネイク・コンパクト2
- ドッキングハンドルキット
- オリジナルシースネイクカメラシステム
- シースネイク MAXカメラリール
- 充電器付きバッテリー2個キット
- 充電器付きバッテリー1個キット
- RIDGID ACアダプター
- RIDGID シークテックまたはナビトラック受信器
- RIDGID シークテックまたはナビトラック 発信器

機器の運搬と保管

CS6Pakの保管、運搬には以下の点に注意してください：

- 子供や部外者の手の届かない施錠された場所に保管してください。
- 感電のリスクを軽減するため、乾燥した場所で保管してください。
- ラジエーター、ヒーターの通風器、コンロ、その他の熱を発生する製品 (増幅器を含む) から遠ざけて保管してください。
- 保管する場所の許容温度は、-10°Cから70°Cです。
- 運搬時に強い衝撃や衝突を与えないように注意してください。
- 輸送または長期保管する場合には、事前にバッテリーを取り外してください。

点検と修理

不適切な点検や修理は、シースネイクCS6を安全にお使いいただけなくなる原因になります。

シースネイクの機器の点検と修理はRIDGID認定修理センターで行ってください。機器の安全を維持するためには、資格のある修理技術者のみに修理を依頼し、必ず同じ部品と交換するようにしてください。以下の状態が発生した場合は、CS6の使用を中止し、修理センターに連絡してください：

- 機器の上に液体をこぼしたり、中に異物が入ってしまった場合。
- 操作指示に従っているのに、機器が正常に作動しない場合。
- 機器が落下、あるいは損傷を負った場合。
- 機器の性能に明らかな変化が見られる場合。

点検および修理は、リジッド正規代行店が行います。下記までご連絡ください。

正規修理代行店 コア・エレクトロニックシステム リジッド製品修理センター

〒224-0026
神奈川県横浜市都筑区南山田町4105
株式会社 コア・エレクトロニックシステム
リジッド製品修理センター
TEL : 045-534-8243
FAX : 045-624-9123
(祝祭日を除く月曜日から金曜日 9:00 ~ 17:00)

その他の製品に関するお問い合わせは
下記までご連絡下さい。

日本エマソン株式会社 リッジ事業部 お客様相談窓口

〒105-0022
東京都港区海岸1-16-1
ニューピア竹芝サウスタワービル7F
TEL : 03-5403-8560
FAX : 03-5403-8569
(祝祭日を除く月曜日から金曜日 9:00 ~ 17:00)
メールアドレス : Ridgid@emerson.co.jp
ホームページ : <http://www.ridgid.jp>

廃棄

本機の部品にはリサイクルが可能な貴重物質が含まれています。お近くのリサイクル専門業者にお問い合わせください。部品の廃棄は、各規制に従って行ってください。さらに詳しい情報に関しては、お近くの廃棄処理機関にお問い合わせください。



EC加盟国: 電気機器は、家庭ゴミと一緒に廃棄しないでください。

電気・電子機器廃棄物に関する欧州議会・理事会指令2002/96/EC (WEEE指令) および各加盟国の規制は、使用できなくなった電気機器は分別収集し、環境に配慮した方法で処分することを定めています。

バッテリー廃棄



RIDGIDはリチャージャブル・バッテリー・リサイクリング・コーポレーション (RBRC™) によって運営されているCall2Recycle®プログラムとライセンス契約を結んでいます。ライセンス保有者としてRIDGIDはRIDGID充電式バッテリーのリサイクル費用を負担しています。

米国・カナダ国内では、RIDGIDおよび他のバッテリー販売業者がCall2Recycle®プログラムを使用しており、3万箇所以上のネットワークで充電式バッテリーの回収やリサイクルを行っています。使用済みのバッテリーはリサイクル回収場所へお持ちください。

トラブルシューティング

問題	問題の推定原因	解決方法
システムの電源が入らない	電源	バッテリーが互換性のあるモデルかどうか確認してください。電池取付部が合致しても全てのバッテリーに互換性があるとは限りません。
		バッテリーを充電してください。
		AC電源に切り替えてください。
メディアを記録できない	USBメモリーが挿入されていない	USBメモリーを挿入してください。メディアを記録するにはUSBメモリーを挿入する必要があります。 ご使用のUSBメモリーが機能しているか、損傷していないか、読み出し専用かを確認してください。
再生の際に音が出ない	スピーカーがミュートになっている	マイクのミュートボタン  の下のLEDが点灯しアイコンが黄色になっているかどうか確認してください  .
	設定の調整	スピーカーの音量とマイク音量を、設定ラベルにて調整してください。
USBメモリーを挿入した後で損傷ファイル警告が表示される	データが完全に書き込まれる前にUSBメモリーを外すとファイルが破壊されることがあります	ファイルの復元をする表示が出たら修復オプションを選択してください。
ジョブマネージャーが空である	USBメモリーが挿入されていない	USBメモリーを挿入してください。ジョブデータはUSBメモリーのみに保存されます。CS6には内蔵メモリーがありません。
画面が暗すぎる、あるいは見づらい	画面の反射	画面に直射日光があたらないようにしてください。
	LCD設定	LCD設定ラベルにてLCD画面設定を調整してください。
	カメラのLED設定	カメラのLED照度を調整するためにLED照度ボタン  を押してください。
低電池残量警告が出る	低電池残量	データの消失を避けるために電源をOFFにしてください。バッテリーを充電するかAC電源に切り替えてください。
測定計数が正確ではない	ドラムまたはプッシュケーブルに対しドラムの搭載カウンターの設定が不正確である	ケーブルの長さ、ケーブルの直径、ドラムの設定が正確か確認してください。
	間違ったゼロ点から数えている	適切なゼロ点から測定が開始されているか確認してください。
ライブ映像が見れない	電源が入っていない	バッテリーが充電されているかACアダプターが適切に接続されているか確認してください。
	スリッピングアッセンブリが壊れている、あるいは接続に欠陥がある	すべての整合と接続ピンを確認してください。 配置とスリッピングアッセンブリのピンの状態を確認してください。
	システムケーブルの接続に欠陥がある	システムケーブルの接続を点検してください。コネクタが定位置までめ込まれているか、外側のロックングスリーブがしっかりとしているか確認してください。

付録

付録A:ドッキングハンドル

CS6Pakドッキングハンドルの標準付属品

- ・ネジ 6個
- ・ゴム製グリップ 1個
- ・ドッキング接続部 2個
- ・ドッキングハンドル 1対

取り外し方

ドッキングハンドルを取り外すには、以下の手順に従ってください：

1. ドッキングハンドルの両側に各3個付いているネジ計6個をドライバーを使って取り外してください。



2. ゴム製グリップとドッキング接続部の付いているドッキングハンドルと、もう一方のドッキングハンドルを外してください。



3. CS6Pakのドッキングハンドルを取り付けるために、全ての部品を安全に保管してください。



取り付け方

CS6Pakのドッキングハンドルを取り付けるには、以下の手順に従ってください：

1. 画面が作業者に向くようCS6Pakを置いてください。ドッキングハンドルの1つをCS6Pakケースハンドルに取り付けてください。
2. ドッキング接続部をドッキングハンドルの片方の面の溝にスライドさせてください。
3. ドッキングハンドルのへこみの中にゴム製グリップを上に向けて置いてください。
4. もう一方のドッキングハンドルをスライドさせてください。ゴム製グリップが両方のドッキングハンドルに正確に並ぶようしてください。
5. ドッキングハンドルの右側にネジを取り付けてください。ネジ穴をだめにしないようネジ山が内部の山と組み合わせるようにしてください。
6. ドライバーでネジをしっかりとめてください。
7. 取り付ける前に、各ドッキング接続部の開口部が下を向いていることを確認してください。

付録B:コンパクト2ドッキングシステム

警告

コンパクト2に装着されている際、長距離移動、あるいはドッキングシステムが離脱して危険な状態の場合、モニターのドッキングハンドルあるいはフロントハンドルを持ってCS6Pakを運ばないでください。本機を誤った方法で運搬すると、モニターのドッキングハンドルがドッキングシステムから外れてしまう可能性があり、その結果、現場に損傷を与えたり、大けがを負う恐れがあります。

CS6Pakは、システムケーブルを使ってどのシースネイクカメラシステムにも接続できます。持ち運びに優れ設置しやすいCS6Pakは、シースネイクコンパクト2に装着できるように設計されています。



注記:CS6Pakのドッキングハンドルの着脱方法は、付録Aを参照してください。フレームにドッキングシステムを取り付ける方法は、シースネイクコンパクト2の取扱説明書を参照してください。

CS6Pakをコンパクト2に取り付ける

開口部が下にくるように、ドッキングハンドルの両側のドッキング接続部を回してください。

1. CS6Pakモニターを持ち上げ、ドッキングフィンの中に入れて、ドッキングフィンの上の接続受け部とドッキング接続部が一直線になるようにしてください。



2. カチッと音がするまでCS6Pakを接続受け部の中にし、しっかりと押し込んでください。

注記:適切に取り付けると、CS6Pakの画面が見やすい方向に調整できるようになります。

保証や修理について

保証期間：

保証は製品のご購入日から1年間とします。また、ご購入時の領収書は大切に保存してください。保証修理時に必要となります。

保証の範囲：

本機器の製造上および、材料に欠陥があった場合のみ保証の対象となります。

保証の適用対象外の事項について：

誤用、濫用、通常の摩耗や亀裂による故障は、本保証の対象に含まれません。また、消耗品等の自然消耗、劣化などの理由による交換や修理は対象外となります。弊社は、本機器の故障、又はその使用によって生じた、付随的損害または間接的損害に対する一切の責任を負いません。各種アクセサリ類は消耗品等に含まれますので、交換や修理は保証の対象外となります。

保証対象：

製造または材料の欠陥以外の理由で本機器が使用不能になったときには、保証の適用は終了します。

保証や修理を受けるときには：

本機器をご購入いただいた販売店にお持ちください。または、運賃元払いにて弊社修理センターに発送してください。また、修理内容にかかわらず返送時の運賃はお客様のご負担となります。

保証や修理方法：

保証や修理対象の製品は、弊社の選択により、修理または交換して返送いたします。保証対象外の製品については、有償にて修理をいたします。

保証の適用について：

弊社に代わって、販売店、代理店などが本保証を変更したり、別の保証を提供したりすることはありません。

※ 本書記載内容については、製品の仕様変更などにより、予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

© 2015年 Ridge Tool Company。無断複写・複製・転載を禁じます。

この取扱説明書の情報が正確であることを保証するため、ありとあらゆる努力を重ねてきました。Ridge Tool Companyとその関係会社は、予告なしにこの取扱説明書に記載されているハードウェア、ソフトウェア、あるいはその両方の仕様を変更できる権利を保有しています。本製品に関する最新及び追加情報は下記のサイトでご覧になれます。

www.RIDGID.com 製品向上の結果、この取扱説明書にある写真、その他の(図などの)表示や説明と実際の製品に違いがあることがあります。

RIDGIDとRIDGIDロゴはアメリカ合衆国やその他の国で登録されているRidge Tool Companyの商標です。ここで言及されているその他全ての登録済み、未登録の商標やロゴに対する財産権はそれぞれの所有者が持っています。第3者の製品について言及している場合は、情報提供のみを目的としているもので、承認あるいは推奨しているものではありません。

We
Build
Reputations™

RIDGID


EMERSON
Commercial & Residential Solutions

EMERSON. CONSIDER IT SOLVED.™